

「こころ」 4 Kの真実 その二

「覚悟」とは何だろうか？

「私」の主観記事を客観記事に書き換える。

例文のKが喋った言葉の部分に「」を付ける。

(8) ¹²⁴下¹³ そのとき彼は例の事件について、突然向こうから口を切りました。

(12) ¹²⁷上¹⁴ 「ばかだ。」とやがてKが答えました。「僕はばかだ。」

(9) ¹²⁴下¹⁶ けれども彼の態度はまだ実際の方面へ向かってちつとも進んでいませんでした。

(13) ¹²⁸上¹⁰ 彼の目にも彼の言葉にも変に悲痛なところがありました。

(10) ¹²⁵上⁰¹ 彼は私に向かって、ただ漠然と、どう思うと言ったのです。

(14) ¹²⁸下¹⁰ すると彼は卒然「覚悟？」と聞きました。

(11) ¹²⁵上¹³ 彼はいつもにも似ない悄然とした口調で、自分の弱い人間であるのが実際恥ずかしいと言いました。

(15) ¹²⁸下¹² 「覚悟、覚悟ならないこともない。」と付け加えました。

「」は何？

(番外) ¹²⁵上¹⁷ 私はすかさず迷うという意味を聞きただししました。

(19) ¹²⁸下¹³ 彼の調子は独り言のようでした。また夢の中の言葉のようでした。

「私」は具体的に何と言ったのか？

「